

広報



しらら

平成2年
8月号



ちょっぴり緊張しながらも、大人の仲間入りをしました

は
た
ち
に
乾
杯
!!

夏の成人式へ関連記事4ページ

今月の主記事

- リレー式青空交通安全大会..... 2
- 着任して5ヶ月医師..... 3
- すっかり定着夏の成人式..... 4
- 完成祝って湖上コンサート..... 5
- 安藤物語..... 6
- おしらせ..... 7
- 健康への道・戸籍の窓..... 8



事故防止訴え青空リレー

リレー旗引き継ぎ決起大会

金木警察管内をリレー方式で結ぶ、第八回リレー式交通安全大会が七月二十一日行われ、二町二村のキャラバン隊が交通事故の防止を訴えて、地区内をパレードしました。

この大会は、夏の交通安全運動にあわせて毎年行われているもので、一つのリレー旗を金木、中里、市浦、小泊の各町村長が受け継ぎ、地区住民が一九となって交通事故防止の徹底をはかろうというも



藤田小泊村助役から三重市浦村長へリレー旗が引き継がれました

この日は、工藤宏金木警察署長をはじめ四町村の担当者、各地区の交通指導員、交通安全協会などの関係団体が参加し、今年是小泊村役場前から国道三三九号を南下、午前九時三十分から村役場前で市浦地区の決起大会が開かれました。

まず、藤田次男小泊村助役から三重市浦村長へリレー旗が引き継がれ、土岐輝雄金木地区交通安全協会会長らあい

まのあと、十三保育所母の会代表の小倉彩子さんが大会宣言を述べました。

このあと、リレー旗は中里町へ引き継がれ、飲酒、暴走運転の追放、シートベルト、ヘルメットの着用を徹底と呼びかけました。

大会宣言

私たちの住む市浦村では、六月二十七日で交通事故死亡事故ゼロ二千五百日達成という、県内第四位の輝かしい記録を達成することができました。これも地域住民の常日頃の交通安全に対する意識の向上と交通安全関係者、各団体の積極的な活動が、この大記録を達成、実現できたことと思います。しかし、この記録は目的ではなく、あくまでも通過点であって、交通事故は絶対点にはならないことです。全国では、この二三年クルマ社会の急進とともに、異常なペースで交通事故死亡者が増えていると新聞等で目にします。私たちの村でも交通事故死亡事故ゼロは続いています。しかし、あやや死亡につながる事故が多発しております。一瞬にして悲惨なドン底に落ち入れる痛ましい交通事故を無くするには、道路を利用する一人一人が交通ルールを正しく守り、ゆとりと思

死亡事故ゼロ
2,554日達成
8月20日現在

飲んで乗る あなたは天国 家族は地獄 交通安全は家庭から

県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

発生	7月	累計	死者のうち	飲酒運転による死者	
	(680)	4,047 (3,806)		シートベルト	24
死者	10 (21)	67 (71)	着用義務者 (着けなければならない人)	37	
傷者	873 (845)	4,974 (4,692)		着用者 (着けていなかった人)	32
			うち、着けていれば助かったと思われる人	9	

()内は前年。累計は1月から

◎ 飲酒運転による死者は、死者全体の36%

◎ シートベルトを着けていないと、6倍の死亡率

シートベルト しめる心が 身を守る

いやりも心がける以外に解決策はありません。
「交通安全は家庭から」このスローガンを合言葉に、交

通安全思想と交通徳の普及徹底をはかり、実践を通して交通事故防止に努めることをここに宣言します。



患者の身になって症状を詳しく説明する葛西医師

このように語ってくれました。葛西医師は、辺地医療の医師確保を目的に、各都道府県がスポンサーとなり、昭和四十七年に開校した自治医科大学の第二期生。

「自然環境に恵まれているし、とても過ごし易いです。安東文化の歴史に關係の深い所などは、市浦に来てから知りました。今度じっくり村内の史跡巡りなどしてみたいですね。」

今年四月、川原田恒医師の後任として市浦診療所長に就任した、葛西智徳医師（三十歳・青森市出身）は、五カ月間過ごしすぎた市浦の印象を

「町の大きな病院では、診療も専門化され、患者を診るといふより病気だけを診る傾向にあります。辺地診療所のよきは、患者一人一人の健康を管理し、総合的な診療ができる点です。村民のための診

療所ですから、もっと気軽に利用してほしいですね」と、患者の立場で診療にあたる葛西医師は、住民の信頼と評判も上々です。

「病気は早期発見、早期治療が大切。医療施設や医療機器も一応は整備されているが、さらに充実させていきたい」と、辺地医療に携わる自覚と意欲を語ってくれました。

着任して5カ月 辺地医療に頑張る青年医師

「村民のための診療所」に意欲



趣味は釣り。学生時代はバンドを組みギターを担当していたという 葛西智徳 医師

「自然環境に恵まれているし、とても過ごし易いです。安東文化の歴史に關係の深い所などは、市浦に来てから知りました。今度じっくり村内の史跡巡りなどしてみたいですね。」

今年四月、川原田恒医師の後任として市浦診療所長に就任した、葛西智徳医師（三十歳・青森市出身）は、五カ月間過ごしすぎた市浦の印象を

「町の大きな病院では、診療も専門化され、患者を診るといふより病気だけを診る傾向にあります。辺地診療所のよきは、患者一人一人の健康を管理し、総合的な診療ができる点です。村民のための診

療所ですから、もっと気軽に利用してほしいですね」と、患者の立場で診療にあたる葛西医師は、住民の信頼と評判も上々です。

「病気は早期発見、早期治療が大切。医療施設や医療機器も一応は整備されているが、さらに充実させていきたい」と、辺地医療に携わる自覚と意欲を語ってくれました。

葛西医師の診療録①

患者というものは患者を診る場合、悪い順に考えるものである。つまり、考えられる最も悪い病気をまず考え、それが否定されればまずは一安心として治療にとりかかれるということである。

胃と胃カメラが主流となつてゐる。それにもかかわらずガクと検診で胃透視を行うのは、多人数を検査するのに通しているためである。

さて、実際の胃カメラをやってみようと言つと、顔をかまらぬ人がほとんどである。あまり奥な検査ではないので、しゃべるこちらの方でもかなり気がひける。しかし、ガンには症状がないということからすれば、本来は全て人が検査を受けなければいけないということになる。なかなかそうもいかないもので、それは検診に任せといて、実際の臨床では少しでも可能性の有りそうな人に勧めるようにしている。

血液検査で貧血がある。体がだるい。最近体重が減っている。腹痛がある。腹臭い。胃が悪い。などという人は、迷わず胃カメラを受けた方がよいと思われる。

市浦診療所長 葛西智徳

記念講演で国際的視野広める

41人が大人の仲間入り 決意も新たに

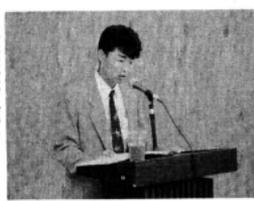


夏型成人式もすっきり定着しました

本村の成人式は、八月十四日午前十時から十三湖中の島水上ステージで行われました。今年村内で、大人の仲間入りをするのは四十一人（男十六人、女二十五人）。式には新成人三十八人と、主催者約五十人が出席しました。

村では、昭和六十年から夏型成人式を行っており、お盆や夏休みで帰省するはたかも多く、軽装で出席できる成人式がすっきり定着しました。

式典では、木村義光教育長が「社会人として基本的教育を身につけ、責任ある行動をとってほしい」と式辞を述べたあと、工藤誠一郎助役らから



▶記念講演で熱弁をふるった八木沢淳さん

ら激励。お祝いのごまがあらりました。

このあと、新成人に記念品が手渡され、新成人を代表して、鳴海忠さんが誓いのことばを述べ、一人一人が自己紹介を述べました。

式典後は、「第三回青森県



新成人代表 鳴海 忠さん

本日は、私たちが成人とし

誓いのいっしょ

て第二の人生を一步踏み出すにあたり、このように盛大なお祝いの式をあけてくださったことは、私達の一生忘れることのできない感激でござい

ます。

これまでの私たちは、両親や社会のあなたかい保護の中で暮らしてまいりました。しかし、きょうからは違います。私たちは、成人として独立した生活に踏み出すことになったのです。それは、私たちの

誇りであり、大きな喜びでもありません。が、同時に今、未知の世界に迷い込むような不安を、ぬぐいさるごまができません。

私たちのこれからの人生が決して平坦なものでないことは、覚悟しております。皆様

なかつたと言いつけるような人生を歩みたいと思つていま

と。それが、今日このように盛大なお祝いの式を挙げてくださる皆様のご好意に報い、私たちの唯一のお返しであります。

頼つて奨を乗り越えていきたいと思つています。

そして、振り返つてみて自分の歩んだ道は、間違つていないと思つています。

海浜清掃に快い汗 金木高相内分校クリーン作戦



全校生徒と教職員が総出で清掃しました

青年の船に参加して、を演題に、八木沢淳さんが記念講演を行い、大人の仲間入りをした若者たちは、熱心に耳を傾

けていました。

また、水上ステージで祝賀会が開かれ、十三湖を背に会話はすんでいました。

公共の場である十三湖の清掃を通し、奉仕の精神を養うとともに、団体行動を通じて規律、協力の精神を養う。

日、私たちが成人として独立した生活に踏み出すことになったのです。それは、私たちの

員が総出でごみ集めをしまし

た。

この場所は、日本海から次々と流れつくごみで山となり、また、観光客や釣り人が数多く訪れる場所だけに、少しでもきれいにしようとして、たっぷり二時間の清掃作業に汗を流しました。

準備した五十余りのごみ袋もたちまちいっぱいになり、トラックで村のごみ捨て場に運びました。

激しい雨の中でのコンサート



相内小鼓笛バンドの演奏



筒井南小吹奏楽部の子供たち



完成祝って 湖上コンサート

十三湖 水上ステージ

今年の三月、十三湖中の島公園内に水上ステージが完成したことを記念して、七月二十五日、「中の島湖上コンサート」が開かれ、会場には約七百五十人の観客が詰めかけ、雷雨の中懸命に演奏するステージに酔いしれていました。

本村では、十三湖の観光資源を生かし、昭和五十九年度から「十三湖中の島ブリッジパーク構想」を打ち出し、開発を進めてきました。

今年三月、十三湖中の島公園内に水上ステージが完成したことを記念して、七月二十五日、「中の島湖上コンサート」が開かれ、会場には約七百五十人の観客が詰めかけ、雷雨の中懸命に演奏するステージに酔いしれていました。

を添えました。

開演直後から雲行きがあやしくなり、地元相内小学校鼓笛バンドの演奏が始まるころには雨が強く降りだし、秋山中学校一年（東郡平内町立小湊青森市立筒井南小学校吹奏楽部の演奏と続きましたが、激しい雷雨のため、コンサートは途中で打ち切られました。

出演者は、横殴りの雨にもめげず懸命に演奏、会場に詰めかけた観客から大きな声援と拍手が送られていました。

チェス波罗ー号遭難百周年 慰霊塔を建立



遭難者の冥福を祈ったバス市長ご夫妻

一八八九年明治二十二年一月三十日早朝、日本海に面する車力村七里長浜沖合いでアメリカ合衆国帆船船チェス波罗ー号（千五百、）が遭難、沈没し、乗務員二十三人中、十九人が悲運の死を遂げましたが、車力村民が荒れ狂う海原へ果敢に小舟を乗り出し、決死の救助作業に乗り出し四人の乗務員を救出しました。

好を永遠に保持させるため、アメリカ駐日大使ご夫妻から多くの関係者を招き、先祖の偉業を称えてきました。

本村においては、亡くなった十九名のうち、エリクソン船長ほか二人の乗務員が十三共同墓地に眠っており、昭和四十五年に慰霊塔を建立し、遭難者の冥福をお祈りしてきました。

今年、遭難百周年という節目の年を迎えることから、車力村、木造町、市浦村の三町村で協賛会を設立し、八月三日車力村で、アメリカ合衆国帆船船チェス波罗ー号遭難百周年慰霊祭を挙行了したものです。

慰霊祭に先立ち八月一日には、アメリカ合衆国メイン州バス市長イケルEカーナンご夫妻が本村を表敬訪問し、新しく建立された慰霊塔に献花、遭難者の冥福をお祈りしました。

車力村でも、日米親善の友

車力村でも、日米親善の友



安藤氏の系図 (9)

忠貞信房

であつたものでしょう。

家任

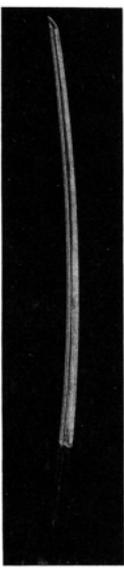
宗任の弟に「家任」がおりました。「秋田家系図」の説明は極めて簡単に書かれています。「剃髪して官照と号す」つまり、髪をそり落として出家となり、その名を官照と名乗つたは「替井五郎」となつて、それから頼時の五男に生まれ、成長して「替井の櫓」の主

「安倍系図伝」には、小松の二部と名乗り、本当は頼時の子でなく黒沢尻昭(頼時の弟)と共に小松の櫓に住っていたのですが、康平五年(一〇六二)八月十六日源兵の為に城を囲まれて遂に戦死したとなつています。そして、「ある説では生け捕られた」とつけ加えられています。その子が秀任で良昭の推薦で小松の家を継ぎ、子孫が

正任

「秋田家系図」では、黒沢尻五郎」とあつて、継子に「頼嗣」が挙げられてい

秋田一季蔵「蝦夷司」とともに安藤康二氏の嫡子に伝えられる。(三善展)



るだけですが。

「安倍系図伝」にはこのほか「黒沢尻の祖なり、奥州和賀の郡黒沢尻の櫓主」とあり、さらに「康平五年九月十一日、清原の武則が為に圍まれ、遂に敗れて出羽の国大鳥山太郎頼遠がもとに隠れ、後に頼時の掃降の由を聞き、亦出で来り了る」とや、詳細であります。

以上まとめてみますと、

「正任」は安倍頼時の五男として生まれ成長後若手黒和賀郡の黒沢尻の櫓主となつていましたが、前九年の役(奥州十二年合戦ともいう)で、源軍に味方したために攻めこぼされて康平五年九月十一日、野川の櫓を脱出して出羽の国を方々逃げ隠れていたのですが、兄宗任が降参したことを聞きつけて、武則の権任を頼つて降参したことになります。子孫が続いているところから察すると死罪は許されたものでしょう。

重任

頼時の第六子重任は、北浦(一本比浦)六郎と呼ばれて成長しましたが、前九年の役でほかの兄弟とともに諸所の戦いに善戦したのですけれども、遂に敗れて兄貞任と一所で戦死したといわれています。なかなかの傑物であつたらしく、一本には敗走した後に捕虜となつたが、死罪は許されなかつたが、斬首されたとも書かれています。

則任

白鳥の八郎と称されています。一説に行任と名乗つたともいわれています。若手黒和賀郡白鳥の櫓主となつた人物です。「安藤系図」では、「行任(白鳥八郎)の子、則任(実)は貞任の子」として記されています。「秋田家系図」・「安倍系図伝」によつて述べてみます。

康平五年九月七日、清原武則の為に白鳥の櫓を敗られて野川の櫓に退いて戦つたのですが、九月十七日野川の櫓も頼遠・義家の焼打ちにあつて則任は捕虜となりました。そして身柄は

京都に送られました。この時、則任の妻が涙を流しながらいうには「あなた々が京都に引かれていけばさつと殺されるに違ひありません。どうして私ひとり馬に生きながらいられたまじいのです。どうかあなたを先に私に私死ねぬことをお許し下さい」と、三歳の嬰児を抱いたまま深い淵に身を投げだして死んだといふこととす。則任の妻のこの貞烈は、武士の妻の鑑として後のちまで語り伝えられるでしょう。

これ聞いた則任は、官軍に向かつて「私が源兵に降つたのは後世の恢復を考へてのことであつたが、妻子の死にあつてはどうして後世の密策を考へていられたよう。どうか私の首をはねてくれ」といったが、官軍が笑つて聞かなかったので、則任はたいへんに怒つて自分分で岩石に頭を打つて自殺したといふことです。白鳥の人びとは則任を神と祀り、神号を白鳥明神として祭奠を怠らなかつたといふます。

情報をお寄せください

おしらせ

役場の電話は62-2111



市浦村の人口と世帯数 平成2.8.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,363	1,362	413
桂川	103	96	24
太田	308	308	95
脇元	651	650	214
磯松	363	360	116
十三	875	875	264
計	3,663	3,651	1,126

出稼労働者現地選考会の実施について

秋冬期出稼労働者を対象とした現地選考会を次のとおり実施することになりましたのでお知らせします。

1. 日程及び参加都県名

- 9月25日(木)…東京都・千葉県
9月26日(金)…神奈川県・埼玉県
9月27日(土)…静岡県・愛知県
(いずれも午前9時より 正午まで)

2. 開催会場

- 五所川原市民文化館
五所川原市岩木町12
電話34-3191番
※お問い合わせは五所川原公共職業安定所へ 電話34-3171番

平成2年度後期技能検定試験のお知らせ

1. 実施職種

機械検査・和裁・建築大工・配管・農業機械整備・鉄筋施工・型枠施工・ガラス施工等32職種

2. 受検資格

受検する職種について1級は12年以上、2級は3年以上の実務経験年数を有する者。但し、学歴、訓練歴により年数が短縮されます。

3. 受検料

- 実技試験 7,500円～12,500円
(職種により異なります)
○学科試験 一律2,300円

4. 実施日

- 実技試験 平成2年12月10日

(月～平成3年2月28日(木))

- 学科試験 平成3年2月3日・2月10日・2月17日のいずれかの日曜日

5. 申込み締切

平成2年10月18日(木)

6. 合格発表

平成3年3月29日(金)

7. 受付場所

青森県職業能力開発協会
青森市大字野尻字今田43の1
電話0177-5561番



国勢調査

平成2年10月1日(月)

10月1日、全国一斉に国勢調査が行われます。
9月23日から30日までの間に、調査員が皆様のお宅に伺いますので、ご協力をお願いいたします。

—総務庁統計局—

海上保安学校学生募集

海上保安庁では次の要領で海上保安大高校と海上保安学校の学生を募集しております。

1. 受験資格

- 昭和42年4月2日(大高校生は昭和45年4月2日)以降に生まれた者で次に掲げる者及び
(1) 高等学校を卒業した者及び平成3年3月までに高等学校を卒業する見込みの者
(2) 高等専門学校の第3学年の

課程を修了した者及び平成3年3月までに高等専門学校の第3学年の課程を修了する見込みの者

- (3) その他大学入学資格検定に合格した者等人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

2. 採用予定数

大高校学生一約50名
学校学生一水路約15名、灯台約35名、通信約15名、航海・機関・主計約85名

3. 試験日(第一次試験)

大高校 平成2年11月3日(土)、平成2年11月4日(日)
学校 平成2年11月4日(日)

4. 試験地

青森市、秋田市、塩釜市、函館市など30箇所。

5. 受付期間

平成2年9月6日(木)から平成2年9月19日(木)まで
○受付時間 9時～17時(土曜日は12時まで、日曜日、休日を除く)

6. 申込用紙請求先及び問い合わせ先

青森海上保安部
〒030 青森市青柳一丁目1番地2号 電話0177-2423番

役場は、4月から第2、第4の土曜閉庁を実施しております。

※なお、診療所及び保育所は従来通り開所しています。

9月の閉庁日は

8日と22日です。

献血功労章に

藤本恒徳さんら

献血運動を全国的な県民運動として盛り上げるため、毎年七月一日から一カ月間、「愛の献血助け合い運動」が展開されています。

県においては期間中「献血運動推進大会」を開き、献血功労者を表彰しています。

七月二十五日、三沢市で開催された推進大会では、藤本恒徳さん(十三)と白川孝治さん(相内)が、銀色有功章を受章。このほど村役場、成田義衛収入役らら伝達されました。

この章は、献血回数三十回以上の人に与えられるもので、本村では、藤本さんが十四人、白川さんが十五人目になります。

注意(1)か(2)

「交通安全事業にでも役立ててほしい」と、相内地区の白川孝治さんから七月二十三日、村へ三十万円寄附されました。これは、祖母カシさんが亡くなった香典返しの一部です。ありがとうございます。



▶50◀

子供成人病教室

これは、子供の頃から成人病予防の意識づけをし、今回の体験が大人になった時の健康意識に役立つことを願って行ったものです。

短命県返上を目指し「生き生き健康県民運動」の推進村に指定され、二年目を迎えた本村では、七月二十三日脳卒中対策の一つとして、十三小中学校の五、六年生の児童を対象に、子供成人病教室を開催しました。

午前中は、ヘルシーメニュー



教室に参加した十三小の子供たち

と称し、食生活改善推進員の指導により減塩に気配りした調理実習、エプロン姿で真剣に材料と包丁に挑戦。

午後は、スライドでからだや血圧についての勉強しました。また、血圧測定も体験しました。反省会では、塩分の多いお菓子を実際に食べ比べ、ふ

だん食べているお菓子を考え直すよい機会となりました。また、プログラムのあい間に実施したアンケートが、子供たちの表情を伝えてくれる一つであるように感じましたので、ここに紹介します。子供たちは、家に帰りどんなふう話しているのでしょうか。本事業の実施にあたり、十三小学校の先生にはお世話になりました。

<参考>

血圧とは心臓が送り出す血液の流れによって末梢血管の壁にかかる圧力をいいます。この圧力の高い状態が高血圧です。WHO(世界保健機関)で定めた高血圧の基準は表のとおりです。WHOの血圧分類(単位:mm水銀柱)

	正常血圧	境界高血圧	高血圧
最高血圧	139以下	140~159	160以上
最低血圧	89以下	90~94	95以上

●勉強後のアンケート 血圧ってなんだったかな?

血の圧力
血の流れの圧力
血のおくり
血をはかること
心臓からの圧力
心臓から出て流れる
血液の速さ
血の速さ
わからなかった

●勉強前のアンケート 血圧ってなあに?

頭に血の上る事
どれくらい悪いが調べること
体の熱が脈の動き
血の圧力
体を流れる血の速さ
脈の圧力
血の病気
血のこと
血の量
病気の事



●勉強になったこと

「ナブタンは血圧が高い塩分のとりすぎは体に悪いこと
血圧を測ってみたいこと
スライドでみたら体の中の様子が見えよかった
料理の作り方

お詫びと訂正
広報しらふ六・七月号の七ページ「市浦村の人口と世帯数」で、総人口六・一五八は、六五一人の誤りでした。訂正お詫びいたします。

竹谷ハナ(脇元) 67歳
吉田金次郎(相内) 65歳
村田ヨシ(磯松) 88歳

おめでとう

多田雅英(岩手)
小寺信子(広島)
加世誠(広島)
美由紀(相内)
漢賀幸枝(島田)
秋(相内)



ご結婚

新岡拓也(十三) 吉治



お誕生

